



2022年3月17日

各 位

会 社 名 サクサホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 丸井 武士
(コード番号 6675 東証第1部)
問 合 せ 先 取締役 IR 室長 上田 康夫
(TEL. 03-5791-5586)

2022年3月期連結業績予想修正および配当予想修正に関するお知らせ

当社は、2022年3月17日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年11月26日公表しました2022年3月期（2021年4月1日～2022年3月31日）の連結業績予想および配当予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2022年3月期連結業績予想の修正

(1) 当期の連結業績予想数値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 予 想 (A) (2021年11月26日)	百万円 30,000	百万円 △700	百万円 △550	百万円 未定	円 銭 未定
今回修正予想 (B)	30,000	△300	0	600	102.73
増 減 額 (B - A)	—	400	550	—	—
増 減 率 (%)	—	—	—	—	—
(参考) 前期連結実績 (2021年3月期)	36,561	2,288	2,269	△217	△37.31

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、上記の連結業績予想は、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

(2) 修正の理由

① 営業利益および経常利益について

通期の業績予想につきまして、売上高は、前回予想を確保できる見通しであります。営業利益と経常利益は、材料および電子部品等不足の長期化が懸念されますが、販売費の見直しや管理費の削減と営業外損益の良化により、上記のとおり、前回公表値を上回る見込みであります。

② 親会社株主に帰属する当期純利益について（前回予想、未定）

中期経営計画の施策である不動産の収益化・流動化の入札結果に基づき優先交渉先を決定し、交渉を開始していますが、当期末までに優先交渉先と具体的な契約条件の合意に至らないと判断しましたので、当該入札に関しての親会社株主に帰属する当期純利益への影響はありません。

したがって、親会社株主に帰属する当期純利益については、上記①の経常利益予想の修正に加え、当第 2 四半期に実施しました投資有価証券売却等の特別利益計上によるものであります。

2. 配当予想の修正

(1) 2022 年 3 月期配当予想の修正

	年間配当金 (円)		
	第 2 四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
今 回 修 正 予 想	—	30.00	30.00
前 期 実 績 (2021 年 3 月期)	—	30.00	30.00

(2) 修正の理由

当企業グループは、株主への利益還元を重要な経営課題のひとつとして位置付けるとともに、既存事業の経営基盤と収益力の強化を図りつつ、成長分野や新規事業に積極投資することにより企業価値の向上を実現することを基本方針としております。

2022 年 3 月期配当予想につきましては、不動産の収益化・流動化の入札結果により、特別損失の見積額に大きく影響を及ぼすことが見込まれたため、「未定」としておりましたが、上記のとおり、当期の連結業績には影響がないと判断したこと、ならびに連結業績予想により、基本方針に基づき、1 株当たり 30 円といたします。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上